

「近隣の自然の変化に目を向ける No. 2:  
季節外れの雪（春の雪）の写真 Spring snow」

2020年4月10日

主の御名を崇めます。

今日は、聖書によれば、イエスキリストが十字架に架かれ悲痛な死を遂げられた金曜日です。

父なる神にとっては愛する子が冤罪で死刑判決を受け、人として最も恥ずべき十字架刑に処せられた日でした。

母マリアにとってはどうだったでしょうか？ゴルゴタの丘の十字架上で苦しみに耐えて最期を遂げた息子の側で気絶寸前であったに違いありません。

12人の弟子たちは？ユダは、3年間師として従って来たイエスを権力者に売り渡し、他の11人は、死刑囚イエスの仲間として捕まることを恐れて逃げてしまったのです。

正に暗黒の出来事が起こったこの日を受難日(passion day)と呼ぶには相応しいと思いますが、今、キリスト教会ではグッドフライデー(Good Friday)と呼んでいるのはなぜなのでしょう？十字架の後に答えがあります。新約聖書を読み、教会での礼拝メッセージ（ライブと音声）を聞き、胸に十字架のネックレスを提げている信者に尋ねてみてください。この日を聖金曜日(Holy Friday)と呼ぶ理由と深い関係があります。

さて、今回の「自粛広場から」は、季節外れの雪（春の雪）の写真アルバムです。3/29(日)の朝から雪が降り続き、あっという間に地面を覆ってしまいました。新型コロナのせいかな、さすがに雪の中で遊んでいる子どもは見かけませんでした。木々に積もった雪や春の花が雪の中で咲いている様が面白いと思い、興奮しながら写真を撮りました。翌朝には、地表の雪はすでに解けていましたが、朝の体操仲間は芦花公園に集まって来ていました。この日は、オーストラリアから1年間留学していた女学生が帰国する前日で、フェアウエル（お別れ）の朝でした。コロナの影響でお別れの会食会を断念したのが心残りでした。

“自然の変化”は、時に異季節外れの気象に出遭うことであり、人と人との関係の変化でもある、と思わされた写真アルバムです。

[http://sengawacx.com/LookNatureN02\\_2020.jpg](http://sengawacx.com/LookNatureN02_2020.jpg)

新型コロナのオーバーシュートは、人間にとっては歓迎されざる変化（異変）ですが、ウイルスの側からしたらごく自然の行動なのかも知れません。

自然の中で生き、生かされている者として、絶滅させたい相手か、共存すべき相手か？最近、朝日新聞で読んだ生物学者（福岡伸一氏の“撲滅することは不可能”）と社会学者（大澤真幸氏の“封じ込めは通用しない”）の見解が興味深かった。

とは言え、人類に集団免疫が出来上がり、特効薬、ワクチンを備蓄できる時を待ち望みたい。